

玉川課長補佐「のめり込み」で発言

業界あげ早急に対策を
国会での危機感は深刻

6月11日のホール関係5団体の風営法検討会第13回WGの会合の冒頭、出席した警察庁保安課玉川課長補佐が、のめり込み（依存）問題で業界への助言と要望の形で、特に発言した。

同課長補佐は、「前から当庁でも問題として考えていたが」と前置きしたうえで、

「現在のカジノ法案の審議の過程で、ぱちんこ遊技への依存の深刻さが語られ、これまで以上に大きな注目が集まっている。そこで語られるのめり込み問題に対する危機感は、皆様方の想像以上に深刻である」と状況を説明し、「リカバリサポートネットワークへの支援に加えて、のめり込み防止の観点から、遊技客に対する『適度な遊技』の訴え、或いは広告物等においての、何らかの取り組みができないか。また、のめり込みの危険性のある遊技客の実態を把握する等の基本的な情報の集積にもご配慮いただきたい。これらについて業

界挙げて検討いただければ、のめり込み問題の改善につながるだけでなく、ぱちんこ営業の健全化やそれに向けた業界の姿勢への理解につながる」旨の要請があった。

ホール5団体風営法検討会WG
運用基準で意見交換

ホール5団体風営法検討会の第13回WG（ワーキンググループ）は6月11日、日遊協本部会議室で開かれ、5団体の担当幹部17人に加えて警察庁保安課から玉川達也課長補佐ら3人が出席した。遊技機等における解釈運用基準の見直し等について、具体事例について行政と業界がフリートークキングの形で意見を交換した。

解釈運用基準の見直しについて、5団体は5月7日、警察庁保安課長宛てに連名で文書を提出、遊技機の変更届出を要する事項の縮減等4項目について、警察庁との具体的協議を要望していた。

インターネット広告協議会
5月掲載2152枚

パチンコインターネット広告協議会（日遊協、凸版印刷（株）、IMC（株）で構成）が6月8日、日遊協本部会議室で開かれた。電子チラシ広告のポータルサイト「Shufoo!」（凸版印刷（株）運営）に掲載しているネットチラシ（パチンコのチラシ Power by Shufoo!）の5月の掲載枚数が、4月より206枚増の2152枚だったことが報告された。3、4月実績より伸びは鈍化しているが、依然増加傾向にある。

不正対策室会議
昨年と大差ない入力

不正対策室会議（室長・伊東愼吾日遊協常務理事）は6月11日、日遊協本部会議室で開かれPSIO（不正対策情報機構）への入力報告を行い、委員12人がゴト・不正情報について検討した。

5月のPSIOオープンネット（業界及び一般ファンからの不正情報）は、業界から12件、一般ファンから642件の入力があった。一般ファンの入力は昨年5月（758件）に比べ116件減少した。2012年の5月までの累計入力

は3515件で昨年同月までの3410件と大きな差はない。

子供事故防止を徹底
全日遊連が呼びかけ

全日遊連は6月21日、各都府県方面遊協（連）宛てに「子供事故防止特別強化期間（7～8月）の実施と駐車場巡回点検時の車内確認の徹底」と題する文書を発し、夏場のホール駐車場等での子供事故根絶を呼びかけた。

具体的には「子供事故防止対策4箇条」と「ホール駐車場巡回点検4箇条」を、改めて全組員へ周知徹底を図るよう求めている。子供事故防止対策4箇条は、①お子様連れの入場をお断りする旨を駐車場・ホール入り口にはっきりと表示
②定期的な店内放送で注意喚起
③駐車場で定期的・実効的な巡回チェック④折込チラシ等の広告宣伝での注意喚起」となっている。また、ホール駐車場巡回点検4箇条は、①1時間に最低1回の巡回
②車内状況を1台1台確実にチェック
③スモークガラス、着色フィルム装着車はとくに注意
④発見時の対応をマニュアル化し迅速な対応を——となっている。

正規ルートの徹底へ 機歴管理の 第二段階で

第62回セキュリティ対策委員会（委員長・山田久雄）日遊協本部会議室で開かれた。PSIO入力状況、不正対策室会議、各団体のセキュリティに関する会議、攻合法詐欺相談窓口への相談内容について報告された。

遊技機の機歴管理に関して、全商協から「ホールから撤去された遊技機の流通経路」、回胴遊商から「撤去済み遊技機の7号営業以外への流通ルートについて」それぞれ報告があった。流通の過程で、ネット販売とブローカーへの転売が闇スロなど違法に結びつくのは明らかであるが、ICTタグによる管理までは時間がかかり、即効性のある対策は立てにくい。委員会では、手をこまねいていることはできないと、第1段階として早速「ホールが責任を持って、登録販売以外には遊技機を手渡さない」とことを徹底させることを確認した。

まず、その正規ルートの移動を実践を確立し、その結果を確認でき

登録資格審査委員会

新規15、更新99

遊技機販売業者の業務適正化を促進するための平成24年度第1回登録資格審査委員会（委員長・深谷友尋）日遊協会長。日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、全日遊連、学識経験者で構成）は6月5日、日遊協本部会議室で開かれた。新規登録を申請した15業者（全商協関係10、回胴遊商関係5）を適合とした。また、更新登録を申請した99業者（全商協関係54、回胴遊商関係42、日工組関係）日電協関係、日遊協関係各1）を適合とした。

中古機流通協議会

パチスロの稼動順調

第78回中古機流通協議会（委員長・金本正浩）全日遊連副理事長）は6月25日、全商協会議室で開かれ、4、5月の中古用、認定用の確認証紙発給状況が報告された。パ

チンコの中古用稼働実績は、4月が5万4533件（対前年比99%）、11万4042台（同106%）、5月が4万8248件（同100%）、9万9172台（同99%）だった。認定申請は4月が2275件8255台、5月が5632件2万9605台。

回胴式の中古用稼働実績は、4月が2万193件（同139%）、4万9651台（同160%）、5月が1万8927件（同146%）、4万5063台（同160%）だった。認定申請は4月が1652件1万4442台、5月が744件6393台だった。

貯玉補償基金 第6期定時社員総会

新理事3氏を選出 11年度事業報告 計算書類を承認

一般社団法人貯玉補償基金（代表理事・深谷友尋）日遊協会長）は6月8日、東京・千代田区のグラウンドアーク半蔵門で第6期定時社員総会を開いた。第1号議案として11年度事業報告及び計算書類を承認した。第2号議案として、木原一雄、日野二郎、森重雄の3氏の退任にともない、理事の選任を行った。古宮重雄（自工会理事長）、白石良二（日遊協理事）、末永洋一

（JINET（株）専務）の3氏を新理事として承認した。また末永洋一氏の後任とし佐々木敏栄氏（JINET経営企画本部副部长）が事務局長に就いた。

第42回理事会

同日同場所、第42回理事会が開かれ、4つの議案を審議した。第1号議案「社員総会議長代行順序決定」第2号議案「理事会議長代行順序決定」に続き、第3号議案「親会社によるセンタ事業者吸収合併」と第4号議案「事務局長選任」の件を承認した。

報告事項として「貯玉補償基金加盟状況」「資金運用状況及び資金運用継続」「東日本大震災被災状況」「社員入退社」「職務執行者変更」の5件が了承された。



貯玉補償基金総会であいさつする深谷代表理事

北海道支部役員会

支部総会は10月3日

日遊協北海道支部は6月11日、札幌市の(株)ビクトリア観光会議室で支部役員等拡大会議を開いた。今年度の支部活動を協議し、①10月3日に支部総会開催、②10月4日に不正対策勉強会を地元遊協と共同開催、③7月3日、遊技業界とすすきの観光協会共同の「すすきの地区ごみ拾いクリーン作戦」に参加、④南三陸町へのボランティア派遣は希望する隊員等の要請に応じて対処、⑤9月中旬にゴルフコンペを業界有志と共同開催——等を決めた。

冒頭、松谷明良支部長が「日遊協は先の総会で役員体制が若返り、専門委員会もスリム化した。業界はいろいろな面で大変な時期にあるが、日遊協はこれ乗り越え、業界のためになる活動を推進しようとしている。私たちが本部の意思を受け継いで、しっかりと活動を実践していきたい」とあいさつした。会議には支部役員、専門委員会委員、ボランティア派遣隊支部隊員、一般会員等9人が参加した。

店長・管理職能力開発講習・試験 10月に名古屋、東京、大阪

ホールの店長や店長候補者、さらにメーカー、設備機器等の遊技産業に働く管理職の方々を対象に、日遊協が関係団体の協力を得て行う「店長・管理職能力開発講習・試験」(旧・店長等講習・試験)が、10月に名古屋、東京、大阪で行われる。

おもな講義は、業界の現状と将来展望、管理能力、マーケティング戦略、コンプライアンス、風営法、業界人の誇りと使命——で、ホール企業だけでなくメーカー、周辺機器等の管理職の方々も業界の健全な経営

に資する心構え・知識・技能等をも身につけて、リーダーとして育ててもらえる内容となっている。

〔名古屋会場〕10月11日(木)

〔東京会場〕10月25日(木)

日遊協本部会議室

〔大阪会場〕10月31日(水)

難波市民学習センター(予定)

午前10時開始、午後5時半終了。

受講・受験料は日遊協会員1万7200円、会員以外2万2450円。

希望者は申込用紙に記入して日遊協事務局に申し込む。申込用紙は日遊協ホームページ、または「講習」チラシのFAX申込書で取り寄せられる。定員に達すると締め切る。

日遊協ホームページ

http://www.nichiyukyo.or.jp/

日遊協事務局

電話 03・35553・4333(代)

FAX 03・35553・4334

入賞作品集を発行 第2回

「第2回パチンコパチスロ エッセー」

絵手紙コンクール」の入賞作品をまとめた作品集(編集・日遊協広報委員会)が6月7日、発行された。エッセー1、絵手紙とも最優秀賞1編、優秀賞2編、佳作10編ずつが収められている。B5判、40ページ。絵手紙ページはカラー。頒価700円(本体66円)。

希望者は、日遊協ホームページ「出版物の購入フォーム」から申し込みください。

プロバがイベント参加

広島市を中心にパチンコ、ゲーム店等を展開しているプロバグループ(平本直樹社長)は6月9、10日の2日間、広島県立総合体育館(グリーンアリーナ)で開かれた「アクティブライフ2012」(広島ホームテ

レビ主催)に参加した。これは「親子3世代で楽しめる、アクティブなライフスタイルの提案」という趣旨で07年から行われている広島最大級の企業出展型イベントで、プロバは08年から出展している。

プロバのテーマは「遊びで元気になろう」。ブースには「太鼓の達人」など6種類の体感式ゲーム機や、3つのゲームを配した脳トレによるコミュニケーションコーナーが設置された。2日間で計2262人(前年比112%)の家族連れがブースを訪れ、平本社長以下35人のおもてなしスタッフがフル回転した。

露木道男氏が死去

日遊協理事、露木道男氏(三幸無線(株)代表取締役会長)が6月20日、間質性肺炎のため死去した。71歳。告別式は同21日、静岡県沼津市、大岡平安典礼会館で執り行われた。喪主は妻かほる氏。葬儀委員長は衆議院議員渡辺周氏。

露木氏は遊技場メダル自動補給装置工業会副理事長、日本システム特許(株)代表取締役。日遊協理事としては1998年6月から7期を務め、6月7日の第23回通常総会で8期目に選任されたばかりだった。

DATA SPOT

店舗数、「前月比もダウン」に戻る

全日遊連は6月19日、店舗数、遊技機台数の2012年5月分を発表した。店舗数の4月は前月比でわずか1軒でも増えたのだが、5月は前月に比べると11店減って、最近の減り方に戻ってしまった。昨年5月(1万1341店舗)と比べてもこの1年間で83店舗減っている。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス5万3041台(昨年5月288万6817台)パチスロ機はプラス9万9592台(昨年5月129万869台)となった。パチスロが18か月連続前年同月比増を続けている。遊技機全体では昨年5月より4万6555台増えている。<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	222	0
東北	508	+2
東京	507	+1
関東	1465	+6
中部	433	+1
近畿	796	+11
中国	275	+2
四国	133	+2
九州	600	+6
全国計	4939	+31

(2012年5月31日現在)

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成24年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	11,332	30	21	138(11)	2,869,178	1,360,139	156	4,229,473
2月	11,303	6	35	137(14)	2,856,929	1,364,366	156	4,221,451
3月	11,268	9	36	144(23)	2,843,391	1,369,425	160	4,212,976
4月	11,269	29	38	134(14)	2,838,019	1,385,142	160	4,223,321
5月	11,258	15	27	134(12)	2,833,776	1,390,461	160	4,224,397

北海道支部役員会

支部総会は10月3日

日遊協北海道支部は6月11日、札幌市の(株)ビクトリア観光会議室で支部役員等拡大会議を開いた。今年度の支部活動を協議し、①10月3日に支部総会開催 ②10月4日に不正対策勉強会を地元遊協と共同開催 ③7月3日、遊技業界とすすきの観光協会共同の「すすきの地区ごみ拾いクリーン作戦」に参加 ④南三陸町へのボランティア派遣は希望する隊員等の要請に応じて対処 ⑤9月中旬にゴルフコンペを業界有志と共同開催——等を決めた。

冒頭、松谷明良支部長が「日遊協は先の総会で役員体制が若返り、専門委員会もスリム化した。業界はいろいろな面で大変な時期にあるが、日遊協はこれ乗り越え、業界のためになる活動を推進しようとしている。私たちも本部の意思を受け継いで、しっかりと活動を実践していきたい」とあいさつした。会議には支部役員、専門委員会委員、ボランティア派遣隊支部隊員、一般会員等9人が参加した。

店長・管理職能力開発講習・試験 10月に名古屋、東京、大阪

ホールの店長や店長候補者、さらにメーカー、設備機器等の遊技産業に働く管理職の方々を対象に、日遊協が関係団体の協力を得て行う「店長・管理職能力開発講習・試験」(旧・店長等講習・試験)が、10月に名古屋、東京、大阪で行われる。

おもな講義は、業界の現状と将来展望、管理能力、マーケティング戦略、コンプライアンス、風営法、業界人の誇りと使命——で、ホール企業だけでなくメーカー、周辺機器等の管理職の方々も業界の健全な経営

に資する心構え・知識・技能等をも身につけて、リーダーとして育ってもらえる内容となっている。

〔名古屋会場〕10月11日(木)

〔東京会場〕10月25日(木)

〔大阪会場〕10月31日(水)

日遊協本部会議室

難波市民学習センター(予定)

午前10時開始、午後5時半終了。

受講・受験料は日遊協会員1万7200円、会員以外2万2450円。

希望者は申込用紙に記入して日遊協事務局に申し込む。申込用紙は日遊協ホームページ、または「講習」チラシのFAX申込書で取り寄せられる。定員に達すると締め切る。

日遊協ホームページ

http://www.nichiyukyo.or.jp/

日遊協事務局

電話 03・35553・4333(代)

FAX 03・35553・4334

入賞作品集を発行 第2回 エッセイ・絵手紙

「第2回パチンコパチスロ エッセイ・絵手紙コンクール」の入賞作品をまとめた作品集(編集・日遊協広報委員会)が6月7日、発刊された。エッセイ、絵手紙とも最優秀賞1編、優秀賞2編、佳作10編ずつが収められている。B5判、40ページ。絵手紙ページはカラー。頒価700円(本体666円)。希望者は、日遊協ホームページ「日遊協出版物について」↓「出版物の購入フォーム」からお申し込みください。

プロバがイベント参加

広島市を中心にパチンコ、ゲーム店等を展開しているプロバグループ(平本直樹社長)は6月9、10日の2日間、広島県立総合体育館(グリーンアリーナ)で開かれた「アクティブライフ2012」(広島ホームテ

レビ主催)に参加した。これは「親子3世代で楽しめる、アクティブなライフスタイルの提案」という趣旨で07年から行われている広島最大級の企業出展型イベントで、プロバは08年から出展している。

プロバのテーマは「遊びで元気になろう!」。ブースには「太鼓の達人」など6種類の体感式ゲーム機や、3つのゲームを配した脳トレによるコミュニケーションコーナーが設置された。2日間で計2262人(前年比112%)の家族連れがブースを訪れ、平本社長以下35人のおもてなしスタッフがフル回転した。

DATA SPOT

店舗数、「前月比もダウン」に戻る

全日遊連は6月19日、店舗数、遊技機台数の2012年5月分を発表した。店舗数の4月は前月比でわずか1軒でも増えたのだが、5月は前月に比べると11店減って、最近の減り方に戻ってしまった。昨年5月(1万1341店舗)と比べてもこの1年間で83店舗減っている。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス5万3041台(昨年5月288万6817台)パチスロ機はプラス9万9592台(昨年5月129万869台)となった。パチスロが18か月連続前年同月比増を続けている。遊技機全体では昨年5月より4万6555台増えている。〈注〉店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	222	0
東北	508	+2
東京	507	+1
関東	1465	+6
中部	433	+1
近畿	796	+11
中国	275	+2
四国	133	+2
九州	600	+6
全国計	4939	+31

(2012年5月31日現在)

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成24年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	11,332	30	21	138(11)	2,869,178	1,360,139	156	4,229,473
2月	11,303	6	35	137(14)	2,856,929	1,364,366	156	4,221,451
3月	11,268	9	36	144(23)	2,843,391	1,369,425	160	4,212,976
4月	11,269	29	38	134(14)	2,838,019	1,385,142	160	4,223,321
5月	11,258	15	27	134(12)	2,833,776	1,390,461	160	4,224,397

露木道男氏が死去

日遊協理事、露木道男氏(三幸無線(株)代表取締役会長)が6月20日、間質性肺炎のため死去した。71歳。告別式は同21日、静岡県沼津市、大岡平安典礼会館で執り行われた。喪主は妻かほる氏。葬儀委員長は衆議院議員渡辺周氏。

露木氏は遊技場メダル自動補給装置工業会副理事長、日本システム特許(株)代表取締役。日遊協理事としては1998年6月から7期を務め、6月7日の第23回通常総会で8期目に選任されたばかりだった。